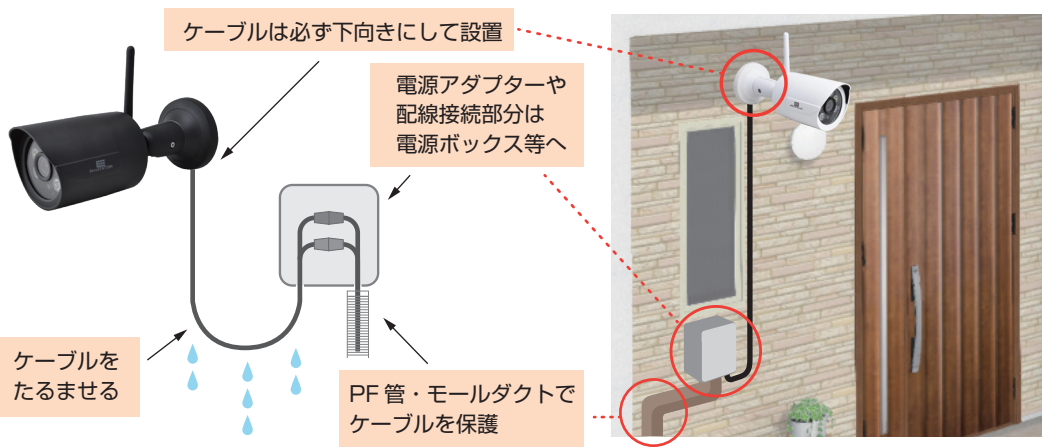


①ポイント 電源部分は防水処理が必ず必要です

カメラ本体は防塵防水仕様に適合していますが、外部機器と接続するケーブルの端部や電源アダプターは防塵防水仕様ではありません。屋内まで電源を伸ばして接続するか電源部分を防水処理して頂くをお願いします。屋外において電源部分の防水処理無しでの設置は故障の原因となります。必ず電源BOXと屋外用コンセントなどを使用して頂くをお願いします。

※屋外用コンセント使用の際は、カバー装着やボックスに格納して頂くと防犯上でも更に安心です。又、雨水がケーブルをつたってカメラ内部に浸入する事により故障する場合もございます。設置の際は設置例を参考にして頂くようお願いします。

設置例



防水処理に必要なもの一例（※別途ご用意下さい）



電源ボックス



モールダクト



PF管



屋外用コンセント



防水テープ

ケーブルの接続部分も防水処理をお願いします



ケーブル接合部は防水テープを巻いて頂き、ボックスに格納してください。

※防水性能のないビニールテープ等を利用すると、経年劣化により浸水・錆等が発生する恐れがあります。